

各大学の発表概要

①13:50～14:03 中部大学 翠川 凌(生命健康科学部2年)

今はじまった 自分を創造する道

障がい者スポーツを通して、地域の方々と活動しました。これまでの自分からこれからの自分へと成長する過程をご紹介します、ごく一部ですが「中部大学COC事業」をご紹介します。正課での「学び」と正課外での「動き」が複雑に絡み合うことによって、私たちは成長しています。私は、中部大学発！地域創成メディエーターへの第一歩を踏み出しました。

②14:03～14:16 福井大学 奥屋裕太朗(工学研究科2年)、坂本宜紀(同)

汎用プラスチックにおける比熱のモデル化と経時変化の予測

高分子材料をガラス転移温度よりも低い温度で一定時間保持(物理エージング、熱処理などと呼ばれる)するとエンタルピーが緩和し、比熱、体積、強度などの性質が変化する。これら性質の変化は、経時変化の予測という観点から関心の高い研究テーマである。我々はエンタルピー緩和を予測する手法について検討し比熱のモデル化を試みた。

③14:16～14:29 岐阜大学 上田裕紀(応用生物科学部1年)、加藤聖弥(同)

地域振興プロジェクト～飛騨牛の将来について～

地域ブランド「飛騨牛」に関する講義・試食・施設見学を通じて、若者の立場から「飛騨牛」をより若い世代に親しまれるようにするにはどうしたらよいかのアイデアを提案する。

④14:29～14:42 香川大学 廣瀬 渉(経済学部2年)、宮脇拓弥(同1年)

瀬戸内地域活性化プロジェクト 東かがわ市住民主体のまちおこし

香川県東かがわ市における住民と本学学生が協働して行った地域資源探しや活動の様子について発表する。

⑤14:42～14:55 金沢工業大学 上原綾太(環境・建築学部3年)、浦口昂久(同4年)、高野 翔(情報フロンティア学部4年)、高戸奈央子(同)

空間デザイン研究:アクティビティを創発させる可変型空間装置と感性情報の共働

照明や映像・音響を有する空間造形と視覚メディアによる感性情報を共働させ、金沢中心部の魅力や新たな都市アクティビティの創出する本プロジェクトでは、実践を通じて学生の成長が図られています。本プロジェクトの多彩な取り組みの中から、数点ご紹介させていただきます。

⑥15:04～15:17 名古屋学院大学 櫻井大洲(商学部3年)、櫻井達也(同)、稲崎大樹(同)、石山大悟(同2年)、高倉章文(同)、村本司(同)、阿部汐里(同)、松本結衣(同)、山口真里奈(同)、辻村侑希(同)、宇佐美楓馬(同)

SNSを活用した減災まちづくり ～大学生が進める減災まちづくり～

本学商学部制生が名古屋市熱田区で実施している地域—行政—大学連携のプロジェクトのIT講習会とSNS防災訓練を通じて、地域の抱える課題を解決し、減災のまちづくりへとつなげていく2014年度の活動報告をする。

⑦15:17～15:30 日本福祉大学 村上康介(社会福祉学部3年)、渡邊美咲(同2年)、森下直輝(同2年)

地域を知り、人々をつなぐ。その先へ～知多半島で学んだ知を、過疎の地のまちに活かす～

なぜ、遠方の長野県で活動を行うのか。日本福祉大学では、持続可能な福祉「ふくし社会」を担う人材「ふくし・マイスター」の養成に取り組んでいます。そのプログラムの1つである経済学部・社会福祉学部の共通プログラムの地域研究プロジェクトVC(ボランティア・コーディネート)プロジェクトでは、自律的に行動できる人材の育成をテーマに大学が位置する知多半島を拠点とした学びを、いわゆる限界集落の長野県上伊那郡辰野町川島地区の定住・移住対策に活かし取り組んでいます。その成果と今後の展開を報告します。

⑧15:30～15:43 滋賀県立大学 村尾友香(人間文化学部3年)

近江楽座プロジェクト「かみおかべ古民家活用計画-SLEEPING BEAUTY-」の活動紹介・近江楽座10周年記念企画の開催報告

近江楽座「かみおかべ古民家活用計画-SLEEPING BEAUTY-」は、滋賀県彦根市上岡部町に佇む築135年以上の古民家にて、学生の手で建物を改修しながら、古民家勉強会・食卓イベントの企画開催などを行い、新たな空き民家活用の可能性を模索しながら活動しているプロジェクトです。
また昨年度、「近江楽座」の取り組みが開始してから10周年をむかえたことを記念して、近江楽座学生委員会が中心になり卒業生や地域関係者の方を交え、今までの活動を振り返る特別企画を開催しました。

⑨15:43～15:56 信州大学 中澤光葉(教育学部1年)、長沢祐希(農学部1年)

PBL(Project Based Learning)を組み込んだ自治体との共同研究

長野県大町市と信州大学による「定住促進政策共同研究」にPBLを組み込んだ事例を紹介。授業ではケース・メソッドを通じて移住定住促進政策を学び、情報発信の偏り(利点重視)に課題があることを把握。それらを改善するために大町市のUIターン者インタビューを実施し、人のタイプごとに課題を把握し、改善するための政策・事業提案を行う。

⑩15:56～16:09 静岡県立大学 秋田凌(国際関係学部2年)

地域のレジリエンスを創り出すための静岡県立大学生による挑戦口

自然災害、人口減少、過疎化など、地域を取り巻く危機を地域の人々の力で乗り越えていくために、地域の人と人とのつながりをつくり、静岡のレジリエンス(復興力)を高める活動をしている団体「静岡>2.0」の紹介を行う。

⑪16:09～16:22 富山県立大学 高松将也(工学部3年)

学生団体COCOS ファミレスとの戦い ～地域を包み焼いて～

ゼロから創設された学生団体COCOSが紆余曲折を経て積み上げてきた一年の軌跡

⑫16:22～16:35 四日市大学 北村 潤(総合政策学部2年)

四日市大学協創ラボ～「自治体と取り組む『親しまれる四日市港づくり』」

・「親しまれる港づくり」に向けた、四日市大学ボランティア部と四日市港管理組合が、共同実践、共同研究等を行っている。
・これまで、「秋のみなとフェスタ」等のイベントの共同実施を中心に取り組んできたが、今後はより具体的な「親しまれる港づくり」に向けた協働の取組を行う予定。